

岐阜大学の活力(いぶき)を地域から世界へ発信する広報誌

# 岐大の いぶき

2025-2026  
Autumn-Winter

No. 50

学び 究め 貢献する



岐阜大学

ローカルの  
経営課題に特化した  
即戦力リーダーを育てる

## 『新 三 設』 社会システム経営学院

「特集」  
社会が変わる。学びも変わる。

## 『再 編』

応用生物科学部

生命や自然の  
総合知を強みに  
高度専門職業人を育成





岐阜大学の活力(いぶき)を地域から世界へ発信する広報誌

# 岐大の いぶき

2025-2026  
Autumn-Winter No.50

published by



MAKE NEW STANDARDS.  
東海国立  
大学機構



岐阜大学

## 03-09 【特集】社会が変わる。 学びも変わる。

生命や自然の総合知を強みに高度専門職業人を育成

応用生物科学部 西津 貴久 学部長

ローカルの経営課題に特化した、即戦力リーダーを育てる大学院

社会システム経営学院 三井 栄 学院長

応用生物科学部

応用生命化学科／食農生命科学科／生物圏環境学科／共同獣医学科

社会システム経営学院

いま直面している経営課題を題材に、実践力を磨くカリキュラム。

社会システム経営学院 篠田 朝也 教授

## 10-13 先輩の声

岐阜大学での学びを基盤に会社経営で社会に貢献する  
新たな人材の登場に期待。

岐阜新聞社 最高顧問

1950年 岐阜農林専門学校農産製造科卒業

杉山 幹夫 さん

株式会社岐阜造園 代表取締役会長

1968年 岐阜大学農学部農芸化学科卒業

小栗 達弘 さん

岐阜大学学長

東海国立大学機構 大学総括理事・副機構長

吉田 和弘

## 14-15 岐大で生まれるもの。最先端研究の現場。

糞に含まれるホルモン代謝物から発情・排卵・妊娠を判定。  
ネコ科絶滅危惧種の保全繁殖に貢献する。

応用生物科学部 生物圏環境学科 楠田 哲士 教授

## 16-17 いまを駆ける!岐大生FACE

パリ五輪の自己ベストを超える跳躍を  
アジア大会で地元の人たちに見せたい。

教育学研究科修士

医学系研究科研究生

赤松 諒一 さん

## 18-19 ひらけ!授業の扉

全学共通教育科目「地域福祉をめぐる課題解決型実習」  
福祉の課題を解決するプロジェクトを通じて、  
社会で活躍するための基礎力が養われる。

教育推進・学生支援機構 白村 直也 准教授

## 20-21 Topics 岐阜大学の取り組み Apr.2025→Nov.2025

## 22 岐阜大学基金

# 応用生物科学部 再編

生命のチカラを岐阜で識る

# 社会 システム 経営 学院 新設

GRADUATE  
SCHOOL OF  
SOCIAL SYSTEM  
MANAGEMENT

ローカル  
ビジネス  
イノベーションで  
未来を創造する

特集

# 社会が変わる。 学びも変わる。

岐阜大学では、これからの社会課題を解決できる

専門性を備えた人材の育成を目的に、

2025年4月、応用生物科学部を再編。

同時に社会システム経営学院(大学院)を新設しました。

新たにスタートした同学部と同学院を紹介します。



## 生命や自然の総合知を強みに 高度専門職業人を育成

1923年設立の岐阜高等農林学校をルーツに、2004年に農学部を改組して発足した応用生物科学部。約20年ぶりとなる今回の再編で誕生した新学科の特色や卒業後に目指せる人物像について、西津貴久学部長に聞きました。



応用生物科学部  
西津 貴久 学部長

**生命・食・環境をキーワードに、深く、かつ広く学べる新3学科。**

応用生物科学部は前身の農学部時代から、「人間の持続的生存と生活環境の向上への貢献」を理念に掲げ、農業に加え食品、医薬品、環境関連などの生物産業で活躍できる人材を育成してきました。今後も理念を実現していくためには、「健康で安全な生活への寄与」「安定的で高品質な食料・食品生産」「気候変動への対応や生物多様性の保全」「持続的な資源の有効活用」といった次世代社会のニーズに応える必要があります。そこで、共同獣医学科を除く従来の2課程5コースを、「生命」「食料」「環境」をキーワードとした3学科構成へと再編しました。農学は非常に広範囲にわたる学問ですが、新たな3学科の学びは全分野を網羅しています。学科ごとの

専門性を深める一方で、幅広い周辺知識も修得して知識の「たこつば化」を防ぎ、多様な課題に立ち向かうための「総合知」を養うカリキュラムとしています。学びの幅が広い分、学生が選択に迷わないよう、将来の目標に応じた履修のアドバイス体制も整備しました。さらに、従来は3年次から専門科目を開講していましたが、再編後は1年次から実習・実験科目を設置。講義で学んだ知識を早くから活用する経験を重ね、課題解決型の人材を育成できることが強みです。

**目まぐるしく変化する時代を、総合知を力に生き抜いてほしい。**

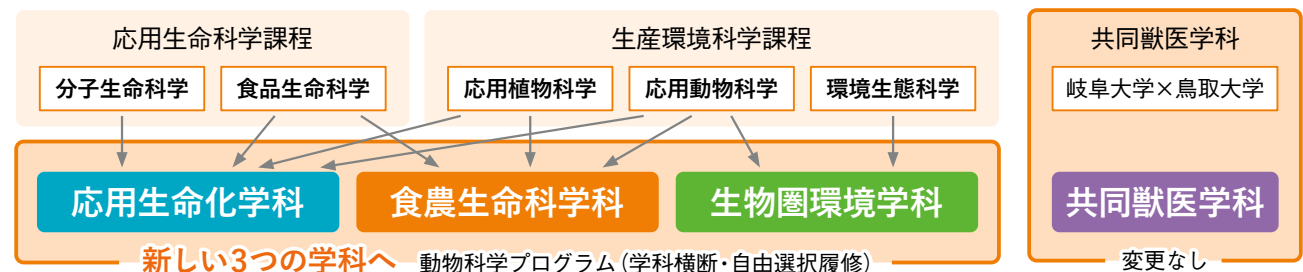
今回の再編を機に、学部内外との連携による教育体制の強化も行いました。動物科学プログラムや国際化プログラムに加え、東海国立大学

機構としての強みを活かし、名古屋大学大学院生命農学研究科の教員による授業を岐阜大学で開講。また、大学敷地内にある岐阜県食品科学研究所による授業、岐阜県農業技術センターの指導下で学生が研究を行う「連携大学院」なども、従来どおり実施しています。

学部再編に続き、大学院修士課程再編の検討も、すでに始めています。応用生物科学部では約半数の学生が大学院進学を選びますが、18歳人口が減少する中で国力を保つためにも、より大きな力を持った高度専門職業人材を輩出することが私たちの務めです。この先、世の中が劇的に変化しても、総合知を強みにたくましく生き抜き、スペシャリストとしてリーダーシップを発揮できる人材を育てるため、時代のニーズに適応した体制を追求していきます。

### 学 部 改組図

従来の「バイオ」「食品」「植物」「動物」「環境」の2課程5コースを、学べる範囲はそのままに、持続可能な社会の実現という社会ニーズに合わせた3学科に改組。受験生にとって学びの内容や将来像をイメージしやすい学科名としました。



## ローカルの経営課題に特化した、 即戦力リーダーを育てる大学院

社会システム経営学環(学部相当)設置から4年後の2025年、複数の研究科や他大学・研究機関などが連携して教育課程を編成・実施できる「研究科等連係課程制度」に基づき社会システム経営学院(大学院修士課程)が発足しました。従来型の経営学大学院とは一線を画す、その目的や教育の特色について、三井栄学院長に聞きました。



社会システム経営学院  
三井 栄 学院長

**高度な理論とローカルの現場を  
往還しながら経営学を学ぶ。**

学部相当の社会システム経営学環はビジネス、まちづくり、観光を対象にローカル(地域の中小企業・自治体・観光など)の経営課題を解決できる実践力の修得を目指す一方、大学院である社会システム経営学院はより高度な専門知識と実践力を備え、地域経済でリーダーシップを発揮する即戦力の育成を目的に誕生しました。この大学院は、社員研修としてMBAと同等以上の知識やスキルを実践的に学べる場を求める地域経済界などの声に応える形で設置されました。修了時には「修士(経営学)」の学位が授与されます。

一般的な経営学大学院が理論と学術論文を重視する一方、社会システム経営学院では講義での高度な理論と実習・研究を組み合わせた

「往還型研究」により、社会実装を実践的に学べるのが大きな特長です。学生自身や所属組織が抱える経営課題を持ち込み、その解決に取り組み、成果を論文にまとめます。修了後は、一般企業の組織リーダーやファミリービジネスの後継者、起業家、経営コンサルタント、公務員や非営利団体の幹部職員など、多様な進路が想定されます。

**最終的に育てたいのは、  
リーダーを育成できる人材。**

社会システム経営学院では、すでに企業や団体のリーダーとして活躍している方も歓迎します。在籍の1期生は、社会人4名、中国人留学生2名の計6名(女性4名、男性2名)です。20代から50代と幅広い年代が、互いに刺激しながら学んでいます。例えば、自治体職員であれば、今後

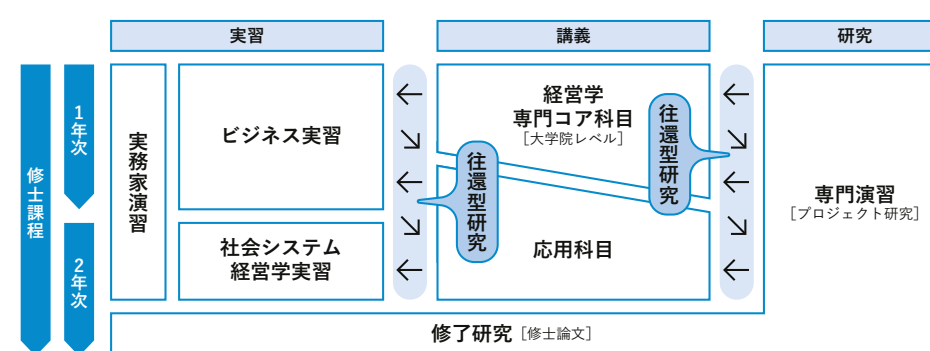
も進む少子化や財源減少で必要な経営的視点、まちづくりや観光振興の実践的知識が身に付くでしょう。企業のリーダー研修として、組織内では得られない知識や体系的な学びを提供できると自負しています。

社会人学生が学びやすいよう、授業は6限目(平日・18:10~19:40)を中心に実施しており、社会人は2年分の学費で最長4年間学べる長期履修制度を設けています。

私たちは、リーダーとして活躍できる学生を教育するだけでなく、修了生が組織のリーダーや組織の持続可能性を高められる人材育成を目指します。短期の研修では難しい、こうした人材育成も社会システム経営学院では十分可能です。社会システム経営学環の卒業生には、3年ほど社会で経験を積み、ぜひ経営課題を携えて入学し、リーダーを目指して学んでほしいと願っています。

### 往還型研究

講義で学んだ理論(例:マーケティングリサーチの知識)と実習・研究(例:観光地でのデータ収集・分析)を組み合わせることで、事業展開や起業に直接活かせる学びを深める。組織リーダーに求められる実践的な課題解決能力の修得を目指す。









# いま直面している経営課題を題材に、実践力を磨くカリキュラム。

アカデミックな研究に終始することなく、理論と現場を往還する学びを通じて、知識の社会実装を目指す社会システム経営学院。それを可能にする独自のカリキュラムについて、篠田朝也教授に聞きました。

## ローカルの企業課題に特化した経営学を学ぶ。

岐阜のような地方では、大企業の本社が集まる大都市とは異なり、ヒト、モノ、カネ、情報などの経営資源に限りがあり、地域特有の制約も存在します。こうした地域の企業経営に焦点を当てて経営学を学ぶことは実はとても重要で、それが社会システム経営学院のカリキュラムの根幹となっています。

講義は、高度な経営学の専門知識を体系的に修得する「コア科目」と、学生が個々の関心に応じて選択できる「応用科目」で構成しています。自然科学技術研究科や地域科学研究科、名古屋大学大学院経済学研究科の教員による授業もあり、ローカルの経営課題として不可欠なまちづくりや景観デザイン、都市工学、農業経営など、工学や農学との融合分野を学ぶことができます。また、これからの経営に欠かせないビッグデー

タ活用によるマーケティングリサーチなど、データサイエンス分野も重視しています。

講義の知識と実践を結びつける場が演習と実習です。「コア実習」はコア科目での学びを活かし経営課題の解決を探るグループワーク型実習です。「実務家演習」では外部講師の下で実際の企業の経営課題に対する解決策を検討。「ビジネス実習」は地域の経営課題に取り組むインターンシップ型実習で、高山市での観光ビジネス実習などを実施しています。

## 多様な属性や視点からの活発な議論が学生の刺激に。

講義はどれも教員から学生への一方通行ではなく、ディスカッションを積極的に取り入れています。オンライン受講も可能ですが、多様な属性を持つ学生同士が対面で議論を交わすことで刺激が得られるため、大半の学生が毎回対面で授業を受け

ています。

2026年度に開講される2年次の「社会システム経営学実習」では、中心市街地でありながら多くの課題を抱える柳ヶ瀬商店街を題材に、活性化策に取り組みます。より充実した内容とするため、私たち教員も地域との調整に奔走しているところです。今後は、実習プログラムを学生自身が考案する形に発展させるなど、さらなる学びの充実に向けた方法を検討していきます。学生には、こうした学びの成果を個々の研究に反映させ、社会実装を実現してもらえと期待しています。



社会システム経営学院  
篠田 朝也 教授



## 学生インタビュー

# 社会システム経営学院ってどんなところ？

Interview

## 学び直しに「遅すぎる」はありません！

①社会人でありながら組織のことを何も知らないと感じ、学び直しを決意しました。愛着ある岐阜のローカルな経営課題解決に力を入れているこの学院の理念に共鳴して入学しました。

②新設の大学院なので、実際に入学してみないとどんなところが分からず不安でしたが、社会人や経営者、留学生と一緒に学

ぶうちに知識が増え、世界が広がるのを実感しています。③日中は図書館で経営学の書籍や論文を読み自習し、6限目の講義を受けて帰宅します。

④経営学や組織論を深く理解し、学びを活かせる社会人・組織人を目指しています。⑤毎日、世界が広がりワクワクできる学びがあります。少しでも興味があればぜひ。学び直しに遅すぎることはありません！



## 描いた未来に向かって頑張れる環境です。

①中国で日本語教師をしていましたが、将来が想像できず、現状を変えるため大学院進学を決意。岐阜大学は、研究生として留学していた先輩から勧められました。②授業についていけるか不安でしたが、先生や学生が明るく元気で、高山のビジネス実習で一緒に活動した学部生も賢く、ここで頑張れば描いた未来を実現できると思いました。③朝はアルバイトがヨガなどの運動の時間。午後は授業や研究テーマに関連する自習をし、6限目の授業に出て帰宅します。④企業への就職が目標。今まで想像しなかった仕事にも挑戦したいです。⑤現状を変えたい人、勉強への意欲が高い人にお勧めです。チームワークも楽しみながら一緒に頑張りましょう！



## 経営者として刺激を得られる贅沢な時間。

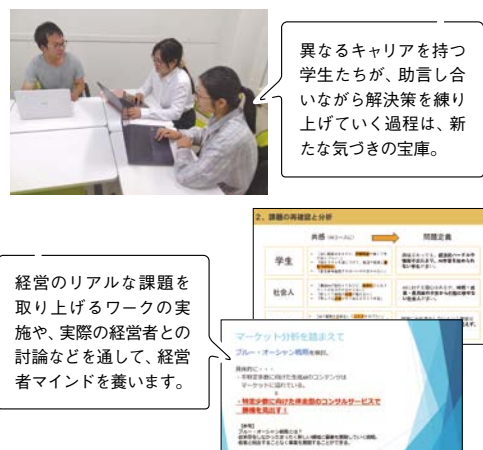
①会社を設立して7年目、いつか経営を系統的に学びたいと思っていました。②仕事と勉強の両立や勉強についていけるかが不安でしたが、毎回良い刺激になり、とても贅沢な時間だと感じています。特に、地域で活躍中の学院の教員によるリレー形式の授業は、多様な視点を学べ面白いのです。③朝は娘のためにお弁当と夕飯を用意して仕事に出かけ、17時頃から大学へ移動。毎日バタバタです(笑)。④大学で教えながら地域でも活躍されている岐阜大学の先生のように、私も経営者としてプラスαの選択肢が増えるといいなと思っています。⑤働きながら学べるこの大学院は、社会人はもちろん、一から学びたい経営者にもお勧めです。



## 特色あるプログラム

### 実務家演習

外部講師を招き、実際の経営課題に対する解決策の企画立案を行います。2025年前期は、AIについて学ぶWeb会員制サロンを運営する、東京の起業家が講師を務めました。全8回の第1回は、講師から「会員数が伸び悩んでいる」という課題と事業への想いを直接聞くことから始まりました。第2回～第7回では、学生たちが互いに助言し合いながら各自のプランを練り上げ、最終回に発表しました。学生各位からの個性的な報告に対して、起業家からは「普段気が付かない新しい視点なども得られて、自分自身も刺激を受けることができた」と好意的なフィードバックをいただきました。後学期の予定は、管理会計をベースとした経営コンサルティングを行う会計専門家とDXによる経営課題の解決に取り組むコンサルティングファームのコンサルタントを講師に迎えます。両講師陣の顧客である中小企業が直面する実際の課題をテーマに、学生が各自またはグループで解決策を検討します。



### 1. 講義による学び

#### ①コア科目

[必修科目] 社会システム経営学特論  
[選択必修科目] 事業創造特論、マーケティング特論、ファイナンス特論、デザイン思考特論、会計学特論、経営組織特論、データリサーチ特論

#### ②応用科目

[自由選択科目] 生産管理特論、環境経営特論  
[自然科学技術研究科開講科目] 基本データツールI、リーダーシップ特論、都市経営論、農業経営特論、地域デザイン特論、基本データツールII、リスクマネジメント特論、プロジェクトマネジメント特論、食料・農業政策特論  
[地域科学研究科開講科目] 計量経済学特論  
[名古屋大学大学院経済学研究科開講科目] 人事管理特論

### 2. 実習による学び

#### ①コア実習

[必修科目] 社会システム経営学実習

#### ②実務家演習

[選択必修科目] 実務家演習I～III

#### ③ビジネス実習

[選択必修科目] ビジネス実習I・II

### 3. 実践による学び

#### 専門演習

[必修科目] 専門演習I～IV





株式会社岐阜造園 代表取締役会長

**小栗 達弘** さん

1968年 岐阜大学農学部農芸化学科卒業

岐阜新聞社 最高顧問

**杉山 幹夫** さん

1950年 岐阜農林専門学校農産製造科卒業

岐阜大学学長／東海国立大学機構  
大学総括理事・副機構長

**吉田 和弘**

岐大のいぶき  
50号記念  
特別企画

## 先輩の声

volume 06

# 岐阜大学での学びを基盤に 会社経営で社会に貢献する 新たな人材の登場に期待。

勉学や野球に励んだ  
思い出深い学生時代。

**学長** ご存じのように岐阜大学と名古屋大学は、2020年に全国の国立大学で初めて経営統合を行い、東海国立大学機構となりました。以来、新たな時代に向けた研究力強化と地域繁栄への寄与を目指し、自治体や地域の産業界との連携を含めた大学の活性化を図っています。私が学長に就任した2022年には、Migration（ミグレーション）、Laboratory（ラボラトリー）、Innovation（イノベーション）、Education（エデュケーション）の頭文字を組み合わせた「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想を掲げ、「研究力の強化

により、新しい産業や企業を地域に誘致してイノベーションを起こすことで、人口が増加し、教育レベルがさらに向上する」という好循環を目指しています。その構想の中で、岐阜大学の学生が起業やスタートアップを目指し、地域のみならず世界に羽ばたいてもらいたいとの考えを表明しています。そこで今回、岐阜大学出身の先輩方の中でも、特に企業経営において成功されたお二人から後輩たちにエールを送っていただきたいとお集まりいただきました。まず、お二人がどんな学生時代を過ごされたかを伺いたいと思います。

**杉山最高顧問** 私が旧制中学を卒業したのは、戦後の極端な食料不足

真っただ中の時代でした。本当は東京の大学に行きたかったんです。ところが今では考えられないことですが、石炭不足で鉄道も満足に運行できませんでした。それで岐阜大学農学部（現：応用生物科学部）の前身である岐阜農林専門学校に入学し、1950年3月に卒業しました。

**学長** 岐阜農林を選ばれたのはなぜですか？

**杉山最高顧問** 実家が味噌と醤油の醸造業で、当時、岐阜農林には農産製造科という学科があったんですよ。

**小栗会長** 私は農産製造科の後継である農芸化学科を1968年に卒業しました。家業は造園会社でしたが、子どもの頃から、職人さんのはんてんと地



1. 岐阜農林専門学校（現：岐阜大学）硬式野球部でキャプテンを務める 2. 岐阜県人ブラジル移住70年祭の特別取材車「アンデス・レインボー号」出発式（サンパウロ市1983年） 3. 全国赤十字大会にて岐阜県赤十字有功会副会長として皇后様（当時）をお見送り（2009年）

下足袋の姿が格好良く思えなくてね。家業は継ぐまいと大学では食品化学を学びました。農芸化学科は優秀で就職先もいと聞いていましたが、実際、優秀な人が多かったですね。

**学長** 現在でも岐阜大学の農学分野は、中部地区の中でも高いステータスがあると思っています。静岡大学との連合による大学院連合農学研究科や、さらにはジョイント・ディグリープログラム「岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻」といった、地域にとどまらない連携にも力を入れています。ところで、学生時代の思い出というところが印象に残っていますか。

**小栗会長** 当時は卒業年次になると1か月間にもわたる毎日2教科の実力試験があったんです。国家公務員一種の受験勉強と、希望の就職先にエントリーできる成績順位決めに兼ねていました。そのために毎晩、夜中の2時か3時まで高校受験並みに気の遠くなるような勉強をしました。おかげで忍耐力が身に付き、卒業してからの大きな力になりましたね。

**杉山最高顧問** 私の思い出は野球ですね。当時、岐阜県内では岐阜農林と、岐阜薬科大学の前身である岐阜薬学専門学校が強豪校でした。私もあちこちの中学へスカウトに行っていたのは、岐阜農林へ入学してもらおう約束を取り付けたものです。それが、入学式の前になると薬専に寝返ってしまった。だから薬専は手強かったですね。でもね、いちばん華やかな思い出は、1949年11月の学校祭で、大き

なみこしを作ったことです。

**学長** 現在の応用生物科学部の創立100周年記念行事の際にその写真を見ましたが、ものすごい活気の中、市内全域を練り歩いて、最後に長良川の河川敷で盛大に燃やしたと聞きました。OBの方は皆さん、楽しかったとおっしゃっています。

**杉山最高顧問** それからもう一つ大きな出来事がありました。在学当時、まだ農学部の無かった名古屋大学から統合の誘いがあったんです。学生の大半からはそれでいいという声が上がっていた。ところがある日、当時の知事、武藤嘉門氏が学校に乗り込んで来て全員が講堂に集められ、「将来はこの岐阜農林を中心に、工専や医専、高等師範とで岐阜大学とするんだ!」と熱弁を振るったんです。みんなシーンとなって聞き入りましたよ。  
**学長** 1949年には国立岐阜大学となりましたが、武藤嘉門氏が「将来は岐阜大学が学問の中心として岐阜の発展に寄与する」との構想を持たれたからこそ、今があるのですね。

交友の中で培われた人間力や  
地域への想いが経営の礎に。

**学長** 卒業後、小栗さんは家業を継がれましたね。

**小栗会長** 先生からは大手食品メーカーへの推薦を約束してもらったんですよ。父に話すと、口では「よかったな」と言うものの、見ると寂しそうな顔をしている。就職担当の先生に相談すると、「それは継がなきゃいか

ん」と。結局、食品メーカーへの就職を諦め、千葉大学園芸学部造園学科で1年学んで家業に入りました。

**学長** 杉山最高顧問の場合は、新聞社に入られたのは、どのようなきっかけでしたか。

**杉山最高顧問** 義父が、当時、経営の傾いていた岐阜タイムズの会社整理をする弁護士だったんです。ところが内情を知るにつれて、真剣に経営に取り組めば立て直せるいい会社だと分かって再建に取り組むこととなり、そこへ入社しました。

**学長** その後、お二人はそれぞれ会社を發展させてこられました。秘訣は何でしょうか？

**小栗会長** そういう話になるとビジネスモデル云々と言われがちですが、私の場合は、厳しかった岐阜大学の卒論のおかげですね。研究の目的や背景を考え、実験データを集めて、考察をして結論を出すという、一連のPDCAを回しますよね。商売でお客様にエビデンスを示して証明する際にも、同じやり方が有効でした。それ







1.東京証券取引所スタンダード市場に上場 2.大阪・関西万博のランドスケープ構築に貢献 3.(一財)岐阜ビジネスフューチャーズ代表理事として岐阜の若き経営者・起業家を支援



おぐり みちひろ  
**小栗 達弘氏 PROFILE**  
 株式会社岐阜造園 代表取締役会長。1944年岐阜市生まれ。1968年岐阜大学農学部農芸化学科卒業。千葉大学園芸学部造園科を経て、家業である岐阜造園に入社。2005年社長、2020年より現職。2022年に造園業では先駆けとなる東証スタンダード上場を果たし、2023年には「出る杭を伸ばす」ことを目的に、私財を投じ起業家支援団体(一財)岐阜ビジネスフューチャーズを設立。



がいいなど、お二人からメッセージやアドバイスをいただけますか？

**小栗会長** インターンシップやアルバイト、地域活動などで、学内外の人と多く関わって、自分は将来何がやりたいかをしっかり考えてもらうと良いと思いますね。在学中に社会とつながる経験をしてほしいです。

**学長** そのお考えは、どのようなところから来ているのですか？

**小栗会長** 当社は2016年に日本で造園専業として初めて上場を果たしましたが、上場審査に通った後、ロードショーといって、東京の機関投資家の皆さんに向けて何度も何度も自社のビジョンや強みを説明する機会があったんです。株式の初値が決まる重要な場です。当時の私は技術力こそが当社の強みと信じていましたから、そこでの投資家の皆さんの関心が、デジタル、ブランディング、マーケティングといった文系的価値創造に

関するものばかりで驚きました。岐阜のような地方にいるからこそ、現場のリアルな価値創造に出会える。でも、それを社会に届けるには「伝える技術＝ブランディング」「仕組みにする技術＝マーケティング」「スピードの技術＝データ力」、そして他社や海外とも連携するオープンイノベーション手法が必要なのだと気づきました。そうした力を獲得するためにも、学生の皆さんには異質な世界に飛び込んで、自分とは考えや価値観の異なる人と出会い、対話してみてほしいんです。**杉山最高顧問** 私からも学生の皆さんに一言。文武両道で活力ある学生生活を送ってもらいたい。今年度の大会で野球部が全敗なのは寂しいですね。例えば東大は年に1、2勝はしています。とにかくまず1勝をお願いします！

**岐阜大学出身経営者の会を発足し、起業に挑戦する学生を支援。**

**学長** お二人には、2025年10月に発足した「岐阜大学経営者の会」において会長と副会長にご就任いただきましたが、今後に向けたお考えや期待をお願いしますか。

**杉山最高顧問** 岐阜大学は全国規模の上場企業の経営者を何人も輩出していますが、岐阜の経済界に残ってくれる人が少ないのが寂しいですね。岐阜大学での学びを基盤に会社経営

で地域貢献なさる方が、1人、2人と出てきてもらえることを望んでおります。岐阜大学を愛しております。

**小栗会長** 我々のように理系学部で実験に一生懸命取り組むことも大切ですが、ビジネスを立ち上げ成長させるには、文系の学問も必要です。大学としても、ぜひ「現場を超えた学びの場」を増やしてもらいたいですし、経営者の会でも学生の皆さんに学びの場を提供すべく、具体案をいくつか考えています。例えば岐阜大学卒の経営者や官僚、研究者など多分野の先輩との定期対話会。スタートアップ体験型ゼミやビジネス創発ゼミ。あるいは岐阜の伝統工芸を海外市場に向けて売るブランディングやマーケティングを体験的に学ぶ、インターンと地域プロジェクトのハイブリッド。地域企業と組めばある程度予算も確保でき、企業にも喜ばれるのではないのでしょうか。

**学長** 岐阜大学には中部地区で最初に設立された起業部があり、Forbes JAPANが選ぶ日本発「世界を変える30歳未満」に選ばれた学生起業家も出ています。彼らのサクセストーリーを、ぜひ経営者の会の皆さんの間でもシェアしていただいて、将来彼らのような若い人材が岐阜あるいは日本のビジネスの中心で活躍できるよう、お二方が先頭に立って人材育成の場を作りご支援いただければと、学長として期待しております。本日はありがとうございました。

から、大学生活では同級生の仲間と、境遇に関係なく一緒に勉学や遊びに励み、切磋琢磨しました。大学寮の学生とは、詰め襟の学生服にどてらを羽織った田舎スタイルで一緒に過ごし意気投合しました。卒業生の先輩方からも岐阜大学の歴史や魂、生き方のようなものも教えてもらいました。先生方とも当時まだ珍しかった私の車で運転を教えたり、ビアガーデンで一緒に飲み食いしたりしたものです。本当に家庭的な雰囲気で心を通じ合わせて身に付いた、信頼関係を築く力やリーダーシップが、商売の上でも大きな力となっています。

**学長** 岐阜大学での4年間で、学問を通じた思考プロセスに加え、人間性を確立し、さらには人間関係が養われ、それらがまさにビジネスの礎になっているわけですね。



たことが発展につながったと思います。これからも生涯をそれに尽くしたいと思います。我ながら地域に対して良いことができたと思うことが一つありましてね。岐阜県出身のブラジル1世・2世の人たちと交流する中で、「今、何が一番欲しいですか？」と聞いたんです。すると、「土地も手に入れ十分食べていけるが、死ぬまでに一度でいいから子ども時代に見た岐阜の花火が見たい」と、長い歴史を持つ岐阜の花火大会を懐かしむ声が上がりました。それで、ブラジルのサンパウロ大学で花火を2回打ち上げたんです。1993年のことです。

**同窓生のつながりで、岐阜県経済のさらなる発展を。**

**小栗会長** 杉山最高顧問が岐阜の一つのシンボルともいえる岐阜新聞を助けられて、ある意味ではその岐阜新聞とともに戦後の岐阜経済は育ってきたんですよ。私自身も1990年頃までのバブル期には、ゴルフ場の建設計画を聞きつけると杉山最高顧問に電話をして、ずいぶん受注を後押ししてもらったものです。

**学長** 昭和の岐阜を岐阜新聞がベースとなって発展させ、なおかつその発展を世間に伝える役割をしっかりと果たしてこられたというのは、同じ岐阜大学の者として誇らしいです。ましてや先輩と後輩の仲から経済をどんどん発展させてこられたとお聞きすると、非常にうれしくなります。

**杉山最高顧問** 学長、我々の時代の

岐阜大学の欠点を強いて言えば、岐阜農林の3年間、あれほど親兄弟以上の付き合いをした同級生との関係が、卒業したら終わってしまったんです。卒業式以来、二度と会っていない人がけっこうおります。全国へ散った人たちが岐阜へ帰ってくるような機会が、本当はもう少しあってもいいかなと思うんですよ。

**学長** それは寂しいですね。当時、同窓会はなかったのでしょうか。

**杉山最高顧問** 一時期はありました。ところが日本が高度経済成長期に入ると、東京オリンピックや新幹線開通など、戦前並みかそれ以上の活況になっていきました。そんな時代ということもあって、地元に残る人が少なかったのかとも思いますが、同窓会というのとはなかったように思います。

**学長** 卒業生の皆さんが全国各地でご活躍されているという理由も大きいかもしれませんね。現在では各学部の同窓会と、それを連合する同窓会連合会というものがあります。加えて2年前には、ステークホルダー、例えば学生の保護者や先生方、事務職員など、岐阜大学に関係する人や、岐阜大学を応援してくれる人の集まりである校友会というものもできたところですよ。大学としても、つながりを保てるよう力を入れております。

**在学中から社会とつながり、異なる価値観にふれてほしい。**

**学長** 今の学生に対して、もっと勉強した方がいい、あるいは遊んだ方

## 「岐阜大学経営者の会」を発足しました！

本学の卒業生は、さまざまな業界で活躍しており、従前よりそのネットワークを活用したいというご要望を多くいただいております。こうした背景を踏まえ、このたび「岐阜大学経営者の会」を設立いたしました。

2025年10月4日には設立総会を開催し、多くの卒業生が一堂に会しました。会は盛況のうちに幕を閉じ、卒業生ネットワークの重要性を再認識する機会となりました。

今後は、卒業生同士の交流を深めるとともに、学生や留学生との関わりを促進しながら、大学との産学連携を推進し、地域の人材育成や経済発展に貢献していきます。





# 糞に含まれるホルモン代謝物から 発情・排卵・妊娠を判定。 ネコ科絶滅危惧種の保全繁殖に貢献する。

動物に関する多彩な研究を深めることができる岐阜大学。動物保全繁殖学研究室では、動物の糞に含まれるホルモン代謝物の変化を分析し、繁殖に役立てる研究をしています。成果は名古屋市東山動植物園のツシマヤマネコの繁殖をはじめ、ネコ科絶滅危惧種の保全繁殖に活かされています。



応用生物科学部  
生物圏環境学科  
楠田 哲士 教授

動物園と連携し、  
糞を利用して、動物にストレスを  
与えずホルモン量を分析。

子どもの頃から動物の飼育や繁殖に興味がありました。動物園実習をしていた大学生時代に糞を使った海外での研究事例を知りました。繁殖には、さまざまなホルモンが関わります。具体的には ①発情期のエストロゲン ②排卵後のプロゲステロン ③妊娠期のプロゲステロンやプロスタグランジンF<sub>2α</sub> などのホルモンです。例え

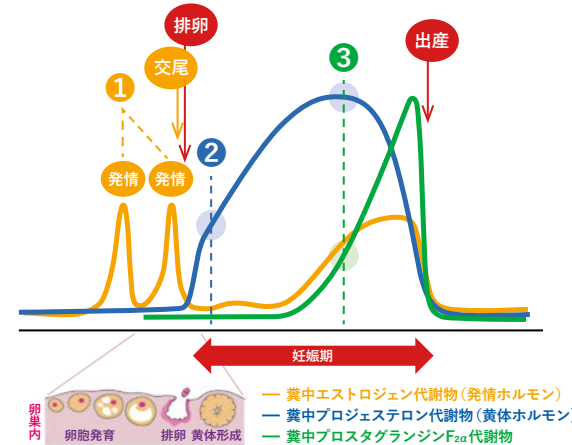
ば血液中のエストロゲン濃度が高ければ、発情期にあった、といった状態を判定できます。しかし、定期的な採血は動物に負担となり、採血者への危険もゼロではありません。一方、糞なら落ちているものを拾うだけで済みます。アフリカゾウやアダックスなどの血液中的プロゲステロンとその糞中代謝物のそれぞれの動態を比較し、糞中が血液中の変化を反映していることを確認しました。いくつかの動物種で、糞からも動物の繁殖生理状態について推定できると分

かったのです。その後、動物園からの相談が増え、哺乳類や鳥類などの幅広い種を対象に研究を続けています。トラやヒョウ、ツシマヤマネコなどのネコ科動物は、注力している動物群のひとつです。ネコ科には多様な種があり動物園でも人気が高い一方で、絶滅危惧種の多いグループです。研究の目標は、繁殖生理の特性を明らかにすること。種によって異なる繁殖季節や排卵様式、妊娠中のホルモン変化を明らかにし、その結果を使って各個体の

図 ネコ科動物の糞中ホルモン代謝物の分析でわかること

- ①発情把握
- ②排卵確認
- ③妊娠判定

ホルモンのパターンを把握できれば、適切な繁殖につなげることが可能に。



発情期にはエストロゲン（発情ホルモン）、排卵期にはプロゲステロン（黄体ホルモン）、妊娠期にはプロスタグランジンF<sub>2α</sub>の値が変化。

希少動物の赤ちゃん誕生、  
それが研究のモチベーション。



ネコ科動物の中でも、ツシマヤマネコは個体数の減少が著しい日本の絶滅危惧種です。種の保存法に基づく保護増殖事業が進められています。十数年程度の寿命のうち、妊娠出産できる年数は半分ほど、繁殖季節も限定されています。日本の野生動物なので、私たちが繁殖生理を徹底的に調べ、確実に子孫を残さねばならない責任があります。絶滅危惧種の繁殖に関わり、また保護増殖事業の中で日本動物園水族館協会が行う生息域外保全に関われることに意義を感じています。連携先のひとつである名古屋市東山動植物園では、飼育員や獣医師によってホルモンデータがしっかりと活用されています。2016年からほぼ毎年妊娠に至り、2021、2023、2024年には赤ちゃんが無事誕生し育成しています。

他のさまざまな動物種に関しても多くの繁殖に関わってきた中で、繁



実験室の乾燥機で乾燥させた糞。ここからホルモン代謝物を抽出し分析する。



2024年に誕生したツシマヤマネコ5頭  
(画像提供:名古屋市東山動植物園)

殖が難しいペアの問題解決にも取り組んでいます。これまで相性の問題と片付けられていたことでも、ホルモン動態の分析により生理状態の異常ではないかなど、真因を明らかにすることで対処できるのではないかと考えています。ホルモン代謝物をより正確にまたは簡易に検出できる試薬の開発にも、企業や動物園と共同で取り組んでいます。

研究資金の壁には苦勞し続けてきました。その解決のために挑戦した2023年度のクラウドファンディングが成功し、その後、高価な試薬をまとめて確保でき、当面の見通しが立ちました。その過程で、近い分野の研究者や妊娠検査薬メーカー、3D標本レプリカ製作会社といった企業ともつながりができました。私たちの研究の最終的な目標は、繁殖生理を明らかにして、動物園での繁殖につなげ、保全に貢献すること。学生にも「何のための研究なのかを常に意識する大切さ」を話しています。動物園で誕生した動物の子どもを見られる、ワクワクする光景に関われることが最大のモチベーションです。絶滅危惧種の域外保全に関わることができ、生物多様性保全に貢献できることをありがたいと思っています。



# パリ五輪の自己ベストを超える跳躍を アジア大会で地元の人たちに見せたい。

2024年に開催されたパリ五輪「走高跳」で日本人88年ぶりの快挙となる5位入賞を果たした赤松諒一さん。今年9月の東京2025世界陸上でも8位に入賞し、2026年に名古屋で開催されるアジア競技大会への出場が内定しています。トップアスリートとして世界で活躍する一方、岐阜大学では転倒予防の研究にも打ち込む赤松さんに、競技にかける想いや今後の目標について詳しくお聞きました。



## 赤松 諒一 さん

教育学研究科修了  
医学系研究科研究生

写真：森田直樹/アフロスポーツ

### PROFILE

1995年5月2日生まれ。岐阜市出身。高校の陸上競技部で走高跳と出会い、3年時に2m16cmをクリアして岐阜県高校新記録を樹立。その後、岐阜大学へ進学し、日本学生陸上競技対校選手権大会で3度の優勝を収めた。以後も岐阜大学を拠点に競技を続け、2023年の世界陸上ブタベスト大会で8位入賞、2024年のパリ五輪では5位入賞を果たした。西武プリンスホテルズ所属のホテルエ、転倒予防の研究生という顔も併せ持ち、「三刀流」ジャンパーとして注目を集めている。



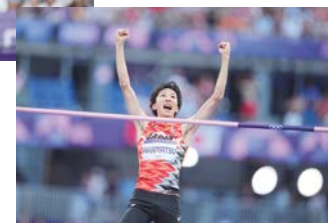
写真：AP/アフロ

今年9月に東京・国立競技場で開催された「東京2025世界陸上競技選手権大会」。赤松さんは男子走高跳決勝で2m24cmを跳び、日本人の最高成績となる8位入賞を果たした。



写真：三船貴光/フォート・キシモト

2024年のパリ五輪・決勝。赤松さんは、会心のジャンプで自己ベストより1cm高い2m31cmを見事クリア。大舞台でしっかり結果を出す精神力の強さを見せた。



写真：picture alliance/アフロ

練習拠点は慣れ親しんだ岐阜大学。赤松さんは助走の速度や踏み切りの力などを強化するため、さまざまなトレーニングを取り入れている。



専任コーチの教育学部  
林陵平准教授と共に、  
アジア競技大会でのメ  
ダル獲得を目指す。

## 東京2025世界陸上では林先生の助言を受け、 今季ベストのパフォーマンスが出せました。

大学の後輩や恩師の前で  
活躍できたのがうれしかった。

パリ五輪の決勝では2m31cmという自己ベストを1cm更新する記録を残すことができました。最高のパフォーマンスが出せたと感じています。大歓声の力を借りて過去一番の跳躍ができ、本当に思い出深い試合となりました。日本勢88年ぶりの5位入賞を果たし、その後は岐阜の方々から声を掛けられる機会が格段に増えました。

今年9月の世界陸上では、パリ五輪と同様に左足小指の疲労骨折が完治しておらず、不安を抱えながらの出場でした。それでも決勝に進出、8位入賞を果たし、「うまくできた」という手応えを感じた試合でした。特に決勝では、果敢に攻めながら今シーズンのベストが出せたと思います。岐阜大学の後輩や恩師も国立競技場まで足を運んでくださり、私の跳躍を生で見てもらえたのがうれしかったですね。

パリ五輪、世界陸上で入賞を果たせた大きな要因のひとつが、岐阜大学の准教授でもあり、コーチを務めてくださる林先生の実験です。試合中も跳躍ごとにアドバイスをいただき、軌道修正しながら次の跳躍に臨みました。まさに二人三脚でつかんだ入賞だったと感じています。

中学時代まではバスケットボール部で、高校の陸上競技部で初めて走

高跳と出会いました。あの時に会えて良かったと今改めて思います。走高跳は一見単純そうに見えますが、一つ一つの動作に奥深い世界が広がっています。自分の感覚と実際の動きをすり合わせ、試行錯誤しながら正解を見つけていくプロセスが面白いと感じられる種目です。

陸上を始めてかなりの年月が経ち、年齢的にも今が競技人生のピークだと感じています。これからもしっかりと休息を取り、地道なトレーニングを積み重ねながら、自己ベスト更新を目指して頑張っていきたいです。

次の目標は来年のアジア大会、  
ぜひ競技場で応援してほしい。

最近では「三刀流」として注目される機会も多くなりました。岐阜大学では、足の裏のバランスと転倒の関係を研究しています。特に高齢の方の転倒予防の研究に力を入れ、重心動揺計での測定データを解析した結果をまとめた論文を学術雑誌に投稿する予定です。また、現在所属する西武プリンスホテルズでは、フロント業務などを行っています。ホテルを訪れる方の3割ほどが外国人観光客のため、業務を通じて英語力を磨くことで、海外大会での審判とのやり取りなどに役立てています。

今後の目標は、まず来年名古屋で開催されるアジア競技大会で良い成

績を残すことです。大学時代によく使用した競技場で開催されるため思い入れも強いですが、岐阜の方にもたくさん応援に来ていただけたらうれしいです。そして、パリ五輪で記録した自己ベストを超える跳躍をお見せしたいと思っています。

私はずっと岐阜大学でトレーニングを続けてきました。慣れ親しんだ場で練習できるのはありがたいですし、知人や後輩からの応援を受けて頑張れるのは大きなメリットです。これからも岐阜大学を拠点にしながら競技に打ち込んでいきたいです。

岐阜から世界へ——。学生時代からこの想いを胸に競技を続けてきました。大きな目標を持つことは、何かを成し遂げるうえでとても大切なこと。今まさに岐阜大学で学んでいる学生の皆さんにも、何か自分の目標を立て、その達成に向けて一歩ずつ進んでもらえたらと願っています。

### Ibuki Special Movie

赤松選手への  
インタビューを  
動画で見よう！







教育推進・学生支援機構  
はくむら  
白村 直也 准教授

全学共通教育科目「地域福祉をめぐる課題解決型実習」

## 福祉の課題を解決するプロジェクトを通じて、 社会で活躍するための基礎力が養われる。

大学構内で日々学ぶ学生たちにとって、社会人と接する機会はそれほど多くはありません。そこで、授業を通じて地域社会が抱える課題に向き合い、社会人とさまざまな接点を持つことで、就職活動やその後の社会人生活に役立つ学びを得てほしい。それがこの全学共通教育科目「地域福祉をめぐる課題解決型実習」の主な狙いです。少人数でのグループ活動を通じて議論を深めながら、受け入れ先の団体・福祉事業者の就業場所に実際に就業し、課題を解決するための方策を考えるプロジェクトに取り組みます。

これまでに、さまざまな課題解決に向けた提案を行ってきました。障害者の就労支援を行う事業者に対しては、障害者に働く場を提供するカフェの広報活動に関する提案を行いました。また、障害者の就職活動を支援する団体に対しては、岐阜市内

対象学生：全学共通 履修期間：1年生 後学期

受け入れ先となる福祉関連団体・事業者が抱える課題をヒアリングしたうえで、グループ活動を通じてその解決策を検討。課題解決に向けたプレゼンテーションを行います。フィールドワークや文献調査などによる情報収集を通じて福祉の現状に対する理解を深めると同時に、社会人に求められる主体性やチームワーク力、発信力など、幅広いスキルを磨くための実践的な学びの機会を提供しています。

のアパレル企業から提供された新品のスーツを面接時のリクルートスーツとしてレンタルできるサービスを提供しました。そして2024年度の講義では、視覚障害者支援団体の社会福祉法人岐阜アソシアさんに受け入れをお願いしました。講義を通して、視覚障害への理解が進んでいないことを知った学生の提案により、視覚障害者がどのようなことに困っているのかを楽しく学べる子ども向けのイベントを開催することになりました。

長らく福祉を専門として研究してきた経験から、受け入れ先の課題を考慮し、全15回の講義で何ができるかの見通しを立てながら、学生自身が主体的にテーマを決めてプロジェクトを進められるように導きます。学生にとって、授業を通じて障害者と接する機会を持つことも、多様性が求められる社会を生きていくうえで役立つことは多いと思います。授業で得た経験を大切に、地域福祉への問題意識を持つ出発点としてほしいと願っています。

### カリキュラム概要

#### 授業の特色

- 討論やプレゼンテーションなど、学生による対話や発表
- 図書館やラーニングcommonsなど、教室以外の場所を活用
- フィールドワーク、キャリア実習、ものづくりなどの体験型学習
- ゲストスピーカーの招へい

#### 授業の流れ

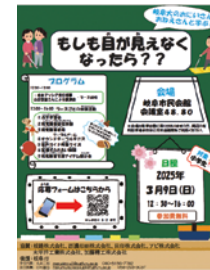
課題の提示	グループ活動	中間報告会	グループ活動	最終報告会
初回のオリエンテーション後、受け入れ先の担当者から取り組むべき課題をヒアリング。現場の声に触れることで、福祉の実情について理解を深めます。	施設で実際に就業体験を実施。受講者全員で話し合い、提示された課題の解決につながる取り組みを考え、情報収集を行います。	具体的に取り組む内容を決定し、受け入れ先の施設に提案。学生たちが企画内容をまとめ、担当者に直接プレゼンテーションを行います。	中間報告会の振り返りを行い、学生たちで今後の活動を話し合います。取り組み内容をさらにブラッシュアップしていきます。	受け入れ先の施設にて最終発表会を行います。施設から受けるフィードバックにより、自分たちの提案を客観的に見直す機会となります。

#### 到達すべき目標

- ◎ 態度としての主体性、チームワーク力、情報の収集・発信力、謙虚に受容する力を育むことができる
- ◎ グループ内での役割分担を通じて、パフォーマンスを上げるには個人としてどのようなすれば良いか見出すことができる
- ◎ 本授業を通じて、日本の社会福祉や教育が抱える問題を理解する
- ◎ 社会人として活躍するために、現在の自分に足りないものに気づき、他者に説明することができる
- ◎ 自分に足りないものを、今後の学生生活でいかに身につけていけば良いか見出し、他者に説明することができる

### 2024年度の課題解決型実習

学生は視覚障害者生活情報センターぎふの館長さんによる講演や就業体験を通して、視覚障害者への理解が進んでいない現状を知り、その課題解決のためには、小学生などの小さな頃から障害に触れ、多様性について学ぶことが望ましいという結論に達しました。そこで、楽しみながら学べる体験型イベント『岐阜大のおにいさん、おねえさんと学ぶ！「もしも目が見えなくなったら？」』を企画。視覚障害疑似体験や点字学習会、音声ガイド映像クイズなどを実施しました。当日の運営はもちろん、イベントの内容やスケジュール調整、スポンサー集めなど、学生たちが一から企画し、取り組みました。



▲制作したチラシと、イベント当日の様子

#### 【実習先】社会福祉法人岐阜アソシア（視覚障害者支援団体）

視覚障害者向けの支援を幅広く行う岐阜市の社会福祉法人。視覚障害者向けの点訳・音訳図書の製作・貸出のほか、点字・歩行・IT機器の操作などの訓練、外出時の付き添いなど、時代のニーズに応じた支援を展開しています。

岐阜県インターンシップ推進協議会のWEBサイトにも掲載されています▶



### 学生インタビュー



地域科学部 地域政策学科 2年  
丸井 二郎 さん

### 社会人の準備にもつながる貴重な経験ができました。

私たちは岐阜アソシアさんが抱える「視覚障害者の実情が認知されていない」という課題を伺い、「視覚障害者が生きやすい社会にするにはどうすればいいのか」を考え、視覚障害について楽しく理解を深めてもらえるイベントを企画しました。

5人のメンバーを「企業班」と「イベント準備班」の2つに分け、私は「企業班」の一員としてイベントの運営費を確保するために協賛企業を募る役割を担いました。企業との交渉では、「学生だから」という理由だけでは理解を得るのは難しく、企業の利益につながる企画の立案や、メールの送り方、訪問時の対応など、相手の立場に立って一つ一つ行動することの重要性を実地で学びました。大学時代の早いタイミングで社会人の準備にもつながる貴重な経験ができ、とても有意義な授業でした。



## 超小型人工衛星「らいちょう」が無事に宇宙へ飛び立ち、国際宇宙ステーションから衛星軌道へ放出されました

岐大のいぶき49号でご紹介した、岐阜大学を中心に県内の工業高校や企業が協力して、超小型人工衛星の制作に取り組んだ「ぎふハイスクールサット(GHS)プロジェクト」。その1号機となる「GHS-01『らいちょう』」が、多くの関係者に見守られながら宇宙へと飛び立ちました。



ぎふハイスクールサットプロジェクトに関する記事はこちら



令和7年8月24日(日)

### ◎「らいちょう」を載せたロケットが宇宙へ

工学部附属宇宙研究利用推進センター主催により、OKB岐阜大学プラザ、パブリックビューイング会場の歴史未来館(笠松町)、発射場のあるフロリダ州(アメリカ)を同時中継する打ち上げ応援イベントを開催しました。イベントの様子はYouTubeでもライブ配信されました。

日本時間15時45分に、ジョン・F・ケネディ宇宙センターから、「らいちょう」を載せたSpace X社のロケット「Falcon 9」が宇宙へ飛び立つ姿が画面へ映し出されると、各会場へ集まった本学関係者、岐阜県関係者、地元高校生、OB・OG、企業関係者などから大きな歓声と拍手が沸き起こりました。



### ◎国際宇宙ステーション(ISS)から衛星軌道へ放出

令和7年9月19日(金)



放出の瞬間を見守るライブビューイングイベントが開催され、開発に関わった高校生や本学関係者、江崎知事をはじめとする岐阜県関係者、協力企業の皆さんなど約70名が、岐阜県庁20階の清流ロビーに集まりました。また、はやぶさ2プロジェクトチームのプロジェクトマネージャ 津田雄一教授(JAXA)、三上建治参事官(内閣府 宇宙開発戦略推進事務局)、長崎県の人工衛星プロジェクトメンバーらがリモートで参加しました。

放出時には清流ロビーからもISSへカウントダウンを送り、「らいちょう」が無事に宇宙空間へ放出された映像が流れると、会場は拍手と歓声に包まれました。

「らいちょう」は今後、宇宙からの地球の撮影や音声通信を通じた国際交流などのミッションを行う予定です。

## 「次世代地域リーダー育成プログラム」の学生たちがNEXCO中日本と共同で交通安全キャンペーンを開催しました

令和7年4月12(土)

河川環境楽園オアシスパークにて、「子どもも大人も楽しめる交通安全キャンペーン」を開催しました。これは地域課題の解決をテーマに、岐阜大学「次世代地域リーダー育成プログラム」の学生たちと、中日本高速道路株式会社(NEXCO中日本)の社員が1年間にわたり計画を進めてきたイベントで、当日は、親子向けクイズ企画や高速道路パトカー・白バイの展示、シートベルト効果体験コーナーなどもあり、多くの家族連れでにぎわいました。



## 人工知能研究推進センター講演会を開催しました

令和7年6月5日(木)

OKB岐阜大学プラザにおいて、「1%の変革が未来を創る ～生成AI時代のDX戦略～」と題し、人工知能研究推進センターの安野たかひろ客員准教授が講演を行いました。安野客員准教授がこれまでに経験したどの職業においても、アウトプットは異なっても、「未来を描く」という共通点があったことを説明。また、AI技術で集めた意見を効果的に可視化し、それらの集約を双方向のコミュニケーションによって改善する実践方法などを紹介しました。



## 岐阜県との連携推進会議を行いました

令和7年9月4日(木)

本学において、岐阜県と岐阜大学による連携推進会議を開催しました。この会議は平成21年度から行っており、16回目となった今回はフレイル予防、異学年集団による学び合い、「岐阜県まるっとキャンパス構想」などについて江崎知事と吉田学長が意見交換を行いました。その後、学内施設の見学を行い、OKB岐阜大学プラザ、糖鎖生命コア研究所、地域連携スマート金型技術研究センター、航空宇宙生産技術開発センターで最新の研究事例を紹介しました。



※役職名・所属は当時のものです

## あべ文部科学大臣とジョイント・ディグリープログラムに関する意見交換を行いました

令和7年4月25日(金)

東海国立大学機構 松尾機構長、岐阜大学 吉田学長、名古屋大学 杉山総長(オンライン参加) および両大学の関係者が、あべ俊子文部科学大臣を訪問し、ジョイント・ディグリープログラム(JDP)の実施状況について意見交換を行いました。また、「ジョイント・ディグリープログラムの運用に関する要望書」を伊藤学司高等教育局長に手交し、今後も文部科学省などの協力を得ながらJDPを推進していく方針であることを表明しました。



## 保健管理センター開設50周年を記念してシンポジウムを開催しました

令和7年9月1日(月)

講堂にて、「岐阜大学保健管理センター開設50周年記念 岐阜大学シンポジウム ～大学のウェルネス～」を開催しました。保健管理センター長・山本眞由美教授の講演では「保健管理センターの50年とこれから」と題し、半世紀の重要な出来事を紹介。また特別講演には、米大学保健管理協会のジェームズ・ウィルキンソンCEOをお招きし、全米の大学に推進する学生ウェルネスと大学ウェルビーイングの理念や実際についてお話しいただきました。



## 岐阜大学が「ぎふSDGs推進ゴールドパートナー」に登録されました

令和7年9月11日(木)

岐阜大学は、岐阜県が推進する「ぎふSDGs推進パートナー登録制度」の令和7年度第1回登録で「ゴールドパートナー」に認定されました。これは、組織としての管理体制が整備され、SDGsの多岐にわたる分野において高い水準で取り組んでいることが評価された事業者に与えられる称号です。今後も岐阜大学は、地域社会と連携しながら、SDGsの理念に基づいた教育・研究・社会貢献を展開し、持続可能な未来の創造に貢献してまいります。





岐阜大学基金では、多くの皆様のご協力により、学生に対する奨学金や国際交流事業、特色ある研究活動への支援、地域社会への貢献事業、キャンパス整備など教育研究活動に活用させていただきます。

皆様におかれましては、岐阜大学基金の趣旨にご賛同いただき、継続的なご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

岐阜大学基金の主な事業内容

- 学生支援・国際交流支援事業 優秀な学生への給付型奨学金(応援奨学生)、留学・海外研修奨学金 等
- 修学支援事業 生活に困窮する学生を学内で雇用 等
- 特定事業 特定した用途に対する寄附金により実施する事業
- 冠特定事業 一定額以上の寄附金について用途を特定し実施する冠事業
- 大学経営自律化促進事業 資産運用の元となる資金を創出する事業

岐阜大学基金についてのお問い合わせ先

国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学Development Office (DO室)  
〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1  
TEL 058-293-3276 FAX 058-293-3279 E-mail kikin@t.gifu-u.ac.jp

ご寄附のお申し込みはこちら <https://www.gifu-u.ac.jp/fund/>

※お振込用紙をご希望の場合は、上記お問い合わせ先へご連絡ください



活動実績（創設～令和6年度末まで）

●応援奨学生 338名：1億3,700万円 ●留学・海外研修奨学金 341名：4,500万円 ●新型コロナウイルス関連学生支援（生活支援給付）2,405名：7,500万円 など、主に学生に関する支援を中心に活動しています。



ご寄附者芳名録

令和7年3月から令和7年9月末までに ご寄附いただいた方で、掲載をご了承いただいた方を五十音順にご紹介させていただきます。また、10月以降にご寄附をいただきました方につきましては、次号にて掲載させていただきます。なお、本学教職員につきましては割愛とさせていただきます。

ご寄附をいただき、心よりお礼申し上げます。

浅野 勝己 様	宇佐見 遼 様	鬼頭 花怜 様	清水 克時 様	富川 侑誼 様	平井 瑞子 様	箕浦 秀樹 様
晴地 修 様	牛田 淳 様	木村 完 様	清水 裕 様	長井 茂明 様	平松 邦英 様	箕輪 光顕 様
渥美清一郎 様	内田 雅之 様	楠井 徳之 様	白髭 昌男 様	中島 康雄 様	深津 直弘 様	村松 弘章 様
阿部 嘉宣 様	太田 正之 様	久世 和奈 様	末松 辰朗 様	長瀬 栄治 様	福井 裕子 様	村本 伸彦 様
天野 和雄 様	大西 将美 様	國枝 正義 様	杉浦 吉彦 様	中浜 香里 様	福士 秀人 様	村本 敏夫 様
飯尾 智志 様	大野 久和 様	倉本 弥生 様	杉山 達彦 様	中平 圭祐 様	藤代 勝 様	森下 宏子 様
市川 幹雄 様	大矢 豊 様	合田 昭二 様	鈴木 富彦 様	夏目 佳幸 様	藤田 めぐみ 様	森脇 久隆 様
市原 美里 様	岡田 雅子 様	古賀 裕貴 様	高井 信治 様	仁木 俊夫 様	舟橋 まゆみ 様	安田 高明 様
伊藤 智宏 様	小川 隆幸 様	小島 孝博 様	高木 敏治 様	西野 佳秀 様	古橋 紀子 様	安田 直彦 様
伊藤英比古 様	小川 剛矢 様	児玉晃一郎 様	高橋 英雄 様	二宮 輝子 様	前田 昭彦 様	安福 嘉則 様
伊藤 秀久 様	奥田 哲司 様	古塚 秀太 様	高橋 浩 様	丹羽 憲司 様	牧野 和彦 様	矢田 泰生 様
伊藤 弘成 様	奥村 和彦 様	後藤 浩子 様	武井 芳成 様	丹羽 直正 様	牧野 茂徳 様	山田 敏美 様
伊藤 浩也 様	小田 啓介 様	後藤 稔 様	竹内 兼蔵 様	野田 龍雄 様	間瀬 隆弘 様	山本 哲也 様
大飼 裕一 様	小田 まつ代 様	小林 勇樹 様	竹中 登一 様	野谷 斎 様	松川 禮子 様	山本 浩典 様
井上 進 様	小野美和子 様	小松 泰生 様	田中 茂 様	信友 政明 様	松田 典芳 様	楊 睦正 様
猪股 秋雄 様	加藤 哲 様	近藤 富雄 様	田中 堯 様	服部 圭子 様	松田 聖士 様	横山 有見子 様
今尾 茂樹 様	金沢 奈美 様	近藤 直実 様	中馬 悟朗 様	早崎 雅人 様	松久 初子 様	
岩田 文子 様	川瀬 幸典 様	佐藤 重豊 様	塚本 吉宣 様	林 睦齊 様	松本 俊明 様	
岩田 元 様	河田 則夫 様	佐藤 安昭 様	築山 茂 様	原 辰樹 様	三浦 敏 様	
岩山 典子 様	川村 一太 様	佐橋 政雄 様	辻 栄央 様	原 政直 様	水野 富夫 様	
上田 元信 様	北山 則子 様	柴田 弘 様	辻本 道孝 様	百万 恵子 様	湊口 信也 様	

法人・団体等

朝日大学病院  
(医) あそうクリニック  
(株) 大垣共立銀行  
大島印刷(株)  
カイ インダストリーズ(株)  
(一社) 海津市医師会  
(医) かとう耳鼻咽喉科サージクリニック  
(株) 環境アセスメント  
(医) 基生会おのレディースクリニック

岐阜県医薬品卸協同組合  
岐阜県植物誌調査会  
(地独) 岐阜県総合医療センター  
岐阜清流病院  
(株) 岐阜造園  
岐阜大学医学部看護学科同窓会  
岐阜大学医学部附属病院看護部自治会  
(医) 厚生会  
(株) CMC総合研究所

(医) 志聖会 総合犬山中央病院  
(株) 十六カード  
(医) 誠広会  
(一財) 誠仁会  
(医) 清友会 笠松病院  
(医) 蘇西厚生会 松波総合病院  
高山赤十字病院  
(医) 琢人会 青山クリニック  
(株) ティ・アシスト

(株) トーカイ  
(株) トオヤマ  
ドマーニ神戸クリニック  
なかのまクリニック  
(医) 博愛会  
みどり病院  
(医) むらせファミリークリニック

他88名 様

他2法人

岐阜大学、発。新しい岐阜のお土産



JR 岐阜駅西口 アクティブG・2階

THE GIFTS SHOP にて販売中！

協力！応用生物科学部 動物保全繁殖学研究室・和菓子処 緑水庵・Princess Branche Pâtisserie Kura

岐阜の魅力を発信したい！



運営！岐阜大学 社会システム経営学環 三井ゼミ

私たちが企画しています！

\\ 岐阜大学2026カレンダーを作成しました //



この度、岐阜大学では、大学内の美しい風景やキャンパスの魅力を詰め込んだカレンダーを作成しました。2024年10月以降に「岐阜大学基金」へご寄付いただいた皆様へ感謝の気持ちを込めてお届けします。

キャンパスの何気ない日常や、四季折々の自然が織りなす風景を通じて岐阜大学の魅力をお楽しみください。



「岐大のいぶき」企業広告掲載のご案内

本冊子に企業広告を掲載しませんか？

配布先：全保護者、東海・北陸・近隣県の高等学校、県内市町村、金融機関、道の駅、近隣県公共施設、学内 等

配布部数：30,000部

掲載位置：裏表紙もしくは裏表紙の裏面



詳細はこちら▶



「岐大のいぶき」について  
「いぶき」は、滋賀・岐阜県境にある伊吹（いぶき）山と生気・活気を意味する息吹をかけて名付けられました。岐阜大学のある濃尾平野には、「伊吹おろし」と呼ばれる強い季節風が吹き込みます。これにぞろぞろ、本誌には、岐阜大学の活力（いぶき）を地域から世界へ感じさせたいという願いが込められています。

岐大のいぶきはWEBからもご覧いただけます！

<https://www.gifu-u.ac.jp/about/publication/publications/ibuki.html>



岐阜大学公式X(旧Twitter)やっています。





このニュース、知ってる？

地元のことなら。



岐阜新聞社

[www.gifu-np.co.jp/](http://www.gifu-np.co.jp/)

きふちゃん 100%

[www.zf-web.com/](http://www.zf-web.com/)

岐阜新聞 デジタル  
GIFU NEWSPAPER DIGITAL

「宅配+デジタルプラン」  
新聞購読料 + 0円



東証STD上場  
名証MN上場

人生を、  
美しい景色に。



株式会社 岐阜造園

本社 岐阜市茜部菱野 4-79-1 〒500-8268  
TEL: 058-272-4120 FAX: 058-274-6207  
東京支店 東京都千代田区平河町 2-14-12 〒102-0093  
TEL: 03-6272-3715 FAX: 03-6272-9088

名古屋支店 名古屋市西区栄生 3-21-6 〒451-0052  
TEL: 052-562-4110 FAX: 052-562-4109  
大阪営業所 大阪市淀川区三国本町 1-6-11 〒532-0005  
TEL: 06-6395-9977 FAX: 06-6399-2707